

No.	カテゴリ	説明	対処内容
1	ライブラリ (表の値取得) /WebDriver	「23_ブラウザ関連¥05_表¥表の値取得」ライブラリで取得するHTMLのtable要素の中に別のtableが含まれている場合、WebDriverでは表の行・列の参照位置がずれてしまい、拡張機能版と結果が異なることがある。	正しい行・列を取得できるよう WebDriverにおける動作を修正しました。 これにより、拡張機能版との動作差も解消されます。
2	サブシナリオ/生成AI連携	「05_生成AI連携¥チャット応答取得(AI連携ライセンス)」サブシナリオで拡張子がWebpの画像ファイルを指定するとエラーが発生する。	画像ファイルが指定された際に拡張子をチェックし、対応していない拡張子の場合はエラーとして非対応である旨のエラーメッセージを返すよう修正しました。
3	サブシナリオ/生成AI連携	「05_生成AI連携」配下のサブシナリオでroleパラメータにAPIが意図していない値を指定すると、サーバからエラー応答が返ってくる。	roleパラメータにAPIが対応していない値を設定した際にデフォルト値へ置き換えるように修正
4	ブラウザ操作 /WebDriver	WebDriverで起動したブラウザのWebページ上に、要素のPathで指定した対象要素が存在しない状態で「23_ブラウザ操作¥03_クリック¥実行結果付きクリック」ライブラリを実行した場合、Ver.7.5.1 ではエラー停止せず、「指定された要素が見つかりません。」という文字列を「処理結果」に設定してノードを終了していましたが、Ver.7.6 ではエラーダイアログが表示され、シナリオが停止してしまう問題がありまし	「実行結果付きクリック」ライブラリ実行時に対象要素が見つからない場合、エラー停止せず、従来通り「処理結果」にエラーメッセージを設定してノードを終了するよう修正しました。
5	サブシナリオ/生成AI連携	「05_生成AI連携」配下のサブシナリオで画像ファイルを指定した際に、「入力画質」に値が指定されていないとエラーが発生する。	画像ファイルを指定した際に「入力画質」の値が指定されていない場合にデフォルトの値を採用するよう修正しました。
6	ブラウザ操作/拡張機能	同じ要素を対象としてブラウザ操作を実行した際に、拡張機能ではエラーが発生するが、WebDriverではエラーが発生しないケースがある。	拡張機能で要素の表示状態を確認する際に要素のstyle属性に設定されたDisplayプロパティのみを参照していたため、表示時に適応されているstyle属性を参照するよう修正しました。 例えば、操作対象要素のstyle属性でdisplay:none、内部CSSでdisplay:block!importantが設定されているケースにおいて、拡張機能とWebDriverのどちらでもブラウザ操作が可能となります。
7	ライブラリ /メール関連	Python版の「20_メール関連¥メール送信」ライブラリでシナリオ実行中にエラーが発生する。	Python版のメールライブラリではSSL通信がデフォルトで有効となっていたため、SSL通信の有無をプロパティで設定できるよう修正しました。
8	分岐ノード	「分岐」ノード、「多分岐」ノードの条件式において即値で条件を設定した場合、キーボード操作だと設定値を部分コピーできるが、マウス操作だと設定値を部分コピーできない。	条件式を即値で設定した場合でも、キーボード操作とマウス操作のどちらでも設定値を部分コピーできるよう修正しました。
9	サンプルシナリオ	WinActor Ver.7.5以降にて、Documents/WinActor/samples/NTTAT.ja/業務シナリオフォルダが存在しない状態で WinActor を起動すると、WinActorの起動失敗やエラーが表示されることがある。	対象のフォルダが存在しない場合でもエラーとならず、WinActor が正しく起動するよう修正しました。
10	ブラウザ操作	Firefox拡張機能を使用して読み込みに長い時間を要するWebページを読み込むブラウザ操作を実行するとタイムアウトエラーが発生することがある。	読み込みに長い時間を要するWebページをFirefox拡張機能経由で読み込んでもタイムアウトエラーが発生しないよう修正しました。
11	Python実行ノード	「Python実行」ノードにおいて、一部の特殊な文字を指定すると、ノードが実行されない状態でシナリオ実行が終了してしまう。	Python版のライブラリおよび「Python実行」ノードにおいて、一部の特殊な文字(絵文字や一部の漢字など)を正しく扱えない(ライブラリの機能が実行されず処理が終了する)問題を解消しました。 例えば、生成AIのチャット応答取得を行うサブシナリオにおいて、生成AIからの応答に絵文字が含まれるケースが該当し、問題解消されています。
12	フローティングライセンス	フローティングライセンスを利用する環境でWinActorを自動起動した時、起動時のライセンス認証に失敗し、その後も認証されない状態のままとなることがある。	WinActor起動時にフローティングライセンスの認証に失敗した場合でも、定期的に再認証を試みるよう改善しました。再認証に成功するとライセンスが有効となり、そのままWinActorをご利用いただけます。
13	ライセンス	「管理サーバからの指示で動作する」設定をライセンス種別ごとに管理したい。	「管理サーバからの指示で動作する」設定をライセンス種別ごとに設定を保持できるよう改善しました。

14	インストーラ	インストール先として既にインストールされているWinActorを選択した際に、誤って異なるインストールモードやライセンスタイプを選択してしまい、意図せずユーザ種別やライセンスタイプが変わってしまうことがある。	インストール先として既にインストールされているWinActorを選択した上で、異なるインストールモード、または、ライセンスタイプを選択すると警告ダイアログを表示するよう修正しました。 本修正は注意喚起が目的であり、インストールモード、または、ライセンスタイプを意図的に変更することも可能です。
----	--------	--	---